



歯科治療費比較

歯の治療費が高いというイメージを持たれている方が多いようですが、実際のところどうなのでしょう？

日本では、いざという時に安心して医者にかかれるように、全ての人が健康保険に加入することが義務付けられています（国民皆保険制度）。よって、下記の費用から一定の負担額（現在は3割）を支払います。

アメリカはどうでしょう…？アメリカでは公的保険が限られているので、一般に治療費は高額になります。詰め物を入れる処置を見ると、日本の3～6倍です。

日本はアメリカと比べると、治療費はかなり低く抑えられていることがわかります。（※より良質の治療をご希望であれば、自費治療をおすすめします。）



日本とアメリカの歯科治療費比較

	アメリカ	日本(保険内の治療)	アメリカ/日本
初診料	3,000～ 9,000円	1,800～ 2,740円	1.7～ 3.3倍
X線写真(パノラマ)	9,000～ 15,000円	3,180～ 4,275円	2.8～ 3.5倍
充填処置料(アマルガム)	9,000～ 17,000円	1,990～ 2,630円	4.5～ 6.4倍
充填処置料(コンポジット)	9,000～ 20,000円	2,400～ 3,050円	3.7～ 6.5倍
インレー(1歯)	52,000～ 85,000円	4,070～ 5,570円	12.7～15.2倍
クラウン(大臼歯1歯)	65,000～130,000円	8,130～10,430円	8.0～12.4倍
ブリッジ(1歯あたり)	65,000～130,000円	8,130～10,430円	8.0～12.4倍
総入歯(上顎または下顎)	130,000～200,000円	30,980～48,970円	4.1倍

「米国歯科医院ビジネスの実態」(小原忠男「アポロニア21」2004.5)による

まだまだ日本では、歯医者さんは痛くなってから行く所だという考えの人が多いのですが、アメリカでは医療費が高いこともあり、予防を意識し、定期的に健診とクリーニングを受ける人が大半です。治療が必要になっても通う回数も少なく、負担も軽くなるのです。

定期的なチェックとプロによるケアで、健康なお口の状態を保ちましょう。